

経理・財務スキル検定サンプル問題

< サンプル問題1 >

次の信用調査に関する解説で()内に入る語句の組み合わせとして最も適切なものはどれか。

「受注契約の締結の前段として、契約予定の会社に対する債権回収見込みを把握・検証するために、取引先等の財務状況、(A)等を調査すること。(B)へ依頼することが多いが、自社でも同時に調査する。」

- | | | |
|-------|-----------|----------|
| 選択肢 a | A 与信限度額 | B 会計事務所 |
| 選択肢 b | A ロゴマーク | B 金融機関 |
| 選択肢 c | A 債務の支払状況 | B 信用調査機関 |
| 選択肢 d | A 取扱商品 | B 税務署 |

< サンプル問題2 >

為替の動きが企業の収益にどのように影響するかについて、()内に入る語句の組み合わせとして適切なものはどれか。

円高は輸出関連企業の収益に(A)、輸入関連企業の収益に(B)に働きます。

- | | | |
|-------|--------|--------|
| 選択肢 a | A プラス | B マイナス |
| 選択肢 b | A マイナス | B プラス |
| 選択肢 c | A マイナス | B マイナス |
| 選択肢 d | A プラス | B プラス |

< サンプル問題3 >

金利の説明で適切でないものはどれか。

- | | |
|-------|--|
| 選択肢 a | なるべく安いコストで資金調達が行えるよう、工夫する必要がある |
| 選択肢 b | 金銭を貸し借りする際の対価や報酬である |
| 選択肢 c | 金利には、公定歩合、預貯金金利、コール・レート、手形レート、公社債の利回り、海外金利などさまざまな種類がある |
| 選択肢 d | 一般に長期金利は短期金利よりも安い |

< サンプル問題4 >

試算表の説明で()内に入る語句の組み合わせで最も適切なものはどれか。

月次試算表を作成することは簡単な決算書類を作成することと同様の役目をすることから、会社の財務状態や経営成績の変化を早く把握することができます。

試算表は企業により(A)に作成されます。給料計算、電気代の支払い等、多くの活動が(B)を周期としてい

ることから、(C)で作成される場合がほとんどです。

- 選択肢 a A 毎月または決算期 B 一年間 C 四半期単位
選択肢 b A 毎日または毎月一定の日 B 1ヶ月 C 月単位
選択肢 c A 毎月月末 B 四半期 C 年単位
選択肢 d A 毎日 B 1週間 C 週単位

< サンプル問題5 >

法人税において次のうち、必ず申告調整を行う項目として適切でないものはどれか。

- 選択肢 a 資産の評価損の損金不算入
選択肢 b 資産の評価損の損金不算入評価益の益金不算入
選択肢 c 収用換地等の場合の所得の特別控除
選択肢 d 減価償却費の償却限度超過額の損金不算入

< サンプル問題6 >

法人税における交際費等に関する記述のうち、適切でないものはどれか。

- 選択肢 a 会議に際して社内又は通常会議を行う場所において通常供与される昼食の程度を超えない飲食物等の接待に要する費用は損金の額に算入できる
選択肢 b 創立記念日、国民の祝日、新社屋落成式等に際し従業員に概ね一律に社内において供与される通常の飲食に要する費用は損金の額に算入できる
選択肢 c 専ら従業員の慰安のために行われる運動会、演芸会、旅行等のために通常要する費用は損金の額に算入できる
選択肢 d 得意先等の社外の者またはその親族等の慶弔、禍福に対し支出する金品は損金の額に算入できる

< サンプル問題7 >

金利上昇局面においての資金運用について以下のものから最も正しいものはどれか。

- 一般的に預貯金による資金運用が有利
一般的に債券による資金運用が有利
一般的に株式による資金運用が有利

- 選択肢 a
選択肢 b
選択肢 c
選択肢 d と

< サンプル問題 8 >

融資判定基準に関する記述について、適切でないものはどれか。

- 選択肢 a 融資先に対する融資枠限度額を定めているものである
- 選択肢 b 融資判定基準は信用調査機関の調査結果のみで判断できる
- 選択肢 c 融資先の事業内容、将来性等を調査する基準を定めているものである
- 選択肢 d 融資判定を一定のレベルで実施するために、設定している基準のことである

< サンプル問題 9 >

長期借入金の説明として最も適当なものはどれか。

- 選択肢 a 借入金のうち1年以内に返済するものをいう
- 選択肢 b 借入金のうち1年を超えて返済するものをいう
- 選択肢 c 借入金のうち3年を超えて返済されるものをいう
- 選択肢 d 借入金のうち10年を超えて返済されるものをいう

< サンプル問題 10 >

資金移動表の作成について適切でない説明はどれか。

- 選択肢 a 資金移動精算表は比較貸借対照表と損益計算書の残高を転記し作成する
資金移動表では損益計算書欄は特段設けられていない
- 選択肢 b 資金移動精算表をもとに資金移動表の経常外収支の部をまとめる
- 選択肢 c 資金運用精算表では資金欄が運転資金と固定資金に分けられていたが、
資金移動精算表では資金欄として一本化されている
- 選択肢 d 資金移動精算表をもとに資金移動表の経常収支の部をまとめる

解答は以下の通り

- サンプル問題 1: c
- サンプル問題 2: b
- サンプル問題 3: d
- サンプル問題 4: b
- サンプル問題 5: c
- サンプル問題 6: d
- サンプル問題 7: a
- サンプル問題 8: b
- サンプル問題 9: b
- サンプル問題 10: a